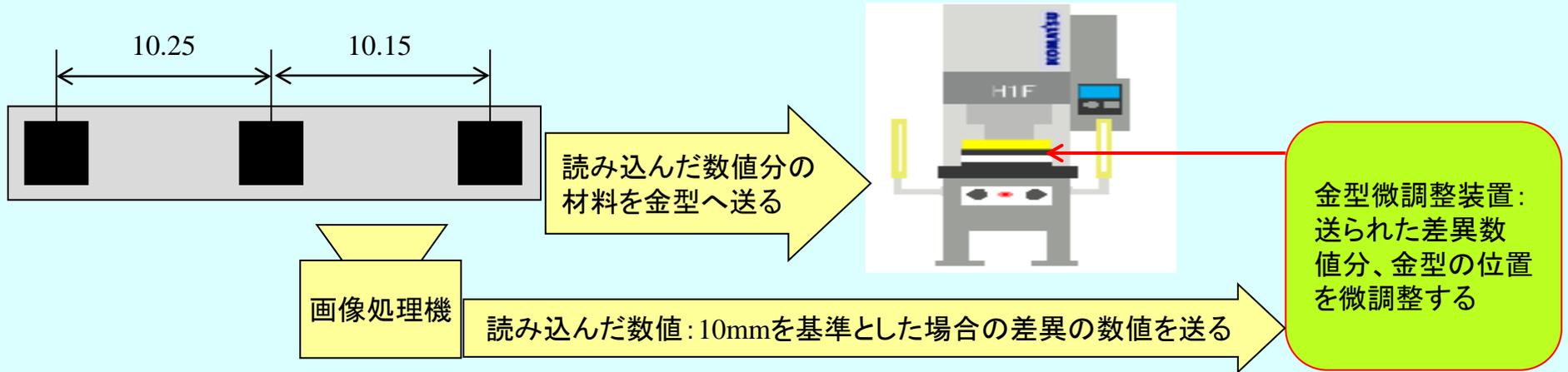


## 【従来の技術と研究内容】

このパターンバラツキを、画像処理機で全てのパターンピッチを読み、その数値分の材料を金型へ送る。と、同時に、10.000mmを基準とした場合のズレ量を、金型微調整装置へデータとして送る。



送られたデータを基に、各々独立した2・3・4型目の金型を都度動かし、絶縁体をシールドケースの中央へ来るようにした。

